

架け橋2018

～自分の未来を切り開く～ 4月9日

「形を整え・心で感じ・姿で魅せる」

最高学年として、みんなで輪之内中学校をつくりあげよう！

進級おめでとうございます。いよいよ中学校生活最後の1年がスタートしました。この1年間は義務教育最後の1年であるとともに、今後の進路を決定していく大切な年となります。自分の将来をしっかりと見据えて、学習や運動に励んでいきましょう！



また、今年度は輪之内中学校の最高学年としての責任がともないます。先輩方が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、より高められるような学校生活を送っていきましょう！2年生の最後に平成30年度前期の生徒会執行部や委員長が決まりました。リーダーとして全校生徒のお手本になるような行動で全校を率いる推進力を期待します。また、生徒会執行部や委員長ではないみんなにも一人一人が学級等で大切な役割があります。一人一人の力は小さいですが、みんなの力が集まるととてつもなく大きな力になります。みんなの力で平成30年度輪之内中学校を作り上げていきましょう！最高学年としての皆さんの活躍と、目標をもって自分の進路を切り開くことができる1年間にしましょう。

学年職員紹介

学年主任	1組担任	2組担任	3組担任	副担任	めぶき	いぶき	支援員
川邊 洋佑	神戸 梓	関谷 祐司	傍島 望	横幕伸治	佐々木優	小川 奈巳	竹田 愛
理科	保健体育	英語	理科	数学	体育	美術	めぶき支援
女子バスケ	男子バスケ	女子テニス	男子バレー	卓球	野球他	美術	

「輪之内中の職員は、誰もがみんなの応援団！」を合い言葉に、皆さんを全力でサポートします。心配なこと等がありましたら、遠慮なく御相談ください。よろしくお願ひします。

お願い・連絡

- 10日(火)から給食が始まります。ナフキンの準備をしてください。給食当番以外の人もマスク着用となります。忘れないようにしてください。
 - 教科書、ワーク、ノートなど、学校で使用するものには、必ず丁寧に記名をしてください。特に靴や上靴の名前も確認してください。
 - 自主学习ノート1ページ以上は毎日の宿題です。10日(火)から毎日提出しましょう。ノートは、1年生の続きでもかまいません。(ルーズリーフの利用やプリントを貼ることは不可です。)
 - 別紙として月ごとに予定のカレンダーを配布します。御確認ください。
 - 提出物の確認をお願いします。
- 保健調査票 生徒調査票 PTA投票用紙 部活動届け 家庭訪問希望調査



昨年度に引き続き、「架け橋」というタイトル名で学校と家庭との架け橋になるようにという願いからこの学年通信を定期的に発行したいと考えています。生徒の頑張っている姿を紹介したいと考えていますが、上記のようにお願いごともあります。特に今年度は、進路に関する情報や提出書類等についても掲載していくことがあります。必ず内容を御確認ください。大切なこの1年間を「明るくさわやかな活力ある学校生活」が送れるように力を尽くしていきます。そのためには、御家庭の御協力がどうしても必要です。今年度も変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願ひします。

今年、大河ドラマでも取り上げられている西郷隆盛さんですが、西郷隆盛さんに関わるお話を紹介します。

「花なれば匂い 枝ぶりやいらぬ 姿振りやいらぬ 人や心」

この教えは奄美大島のことわざで、「どんなに美しく高級な紙が使われていても、造花が人の心を感動させることは少ないということから、人間も同じで、目を見張るほど、きらびやかな装いをつけた人よりも、心が優しくて人間味のある誠実な人に魅力を感じるものだよ。」という意味です。つまり、人は努力して人間的に誠実に生きていくようにしようと教えているのです。

西郷南州という人も、なりふりにこだわらない人でした。とりわけ中央政界から身を退いて帰郷した西郷さんは、鍬（くわ）を握り、肥桶（こえおけ）を担いで農にいそしみ、その姿は、とても政・官界で一時代を指導した人には見えませんでした。ある時、畑の作業から帰る途中、1人の若侍が、下駄の緒が切れたからなおせと足を突き出しました。西郷さんは黙って、それをなおしましたが、若侍は礼も言わず、そのまま立ち去りました。作業着のままの男を見下していたのでしょう。それから何日か経って、若侍が仕えていた武家の客間に茶を運んでいったところ、その偉い客人はなんと西郷さんだったのです。西郷さんはにこにこしながらこう言ったそうです。「わしの顔を覚えておろう。人はどんな相手に対しても人としての礼を尽くさないといけない・・・。」西郷南州という人の味わい深い、広やかな心の世界が見えるようなエピソードです。この人が「西郷さん」（せごどん）と親しみと尊敬の情を込めて呼ばれるのは、その心の豊かさからくるものなのです。「花ならば匂い、人ならば心こそ命」なのです。



「語り継ぐ鹿児島県の教え集」より

いかがでしょうか？「人ならば心が大切」と考え、そのように生きた西郷さんです。人はつい見た目で見たり、軽んじたりすることがあります。しかし、大切なのは中身、その人の心です。心の部分を大切に感じられる人になりたいですし、心を認めてもらえるような人になりたいですね。